

シラバス

| | | | |
|---------|---|------|----|
| 授業科目 | 薬学英語Ⅱ | | |
| (英文名) | English communication in pharmaceutical science Ⅱ | | |
| 担当教員 | 金尾義治 他 | | |
| 単位数(期別) | △2(後) | 対象学生 | 2P |

■授業のねらい・概要■

薬学を中心とした自然科学の分野で必要とされる英語の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と技能を修得する。

薬学英語入門【F(2)】

■授業(学習)の到達目標■

【読む】

1. 易しい英語で書かれた文章を速読し、主題を把握することができる。(知識・技能)
2. 易しい英語で書かれた文章を読んで、内容を説明できる。(知識・技能)
3. 薬学に関連する英語の専門用語のうち代表的なものを列挙し、その内容を説明できる。(知識・技能)
4. 英語で書かれた科学、医療に関連する著述の内容を正確に説明できる。(知識・技能)

【書く】

1. 短い日本語を文法にかなった英文に直すことができる。(知識・技能)
2. 自己紹介文、手紙文などを英語で書くことができる。(知識・技能)
3. 自然科学各分野における基本的単位、数値、現象の英語表現を列記できる。(知識・技能)
4. 科学実験、操作、結果の簡単な説明に関する英語表現を列記できる。(知識・技能)
5. 科学、医療に関連する簡単な文章を英語で書くことができる。(知識・技能)

【聞く・話す】

1. 英語の基礎的音声を聞き分けることができる。(知識・技能)
2. 英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。(知識・技能)
3. 英語による日常会話での質疑応答ができる。(知識・技能)
4. 主な病名、組織・臓器名、医薬品名などを列挙し、正確に発音できる。(知識・技能)

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 薬学英語への招待・「肝臓」(金尾) | 11 「花粉症」(田中) |
| 2 「喫煙と肺がん」(赤崎) | 12 「水道水と蒸留水」(金尾) |
| 3 「細胞」(赤崎) | 13 「抗体」(金尾) |
| 4 「有害物質の体内への取り込み」(赤崎) | 14 「気体の体積」(金尾) |
| 5 「アルカンと芳香族炭化水素」(藤岡) | 15 定期試験 |
| 6 「酸化マグネシウム」(藤岡) | |
| 7 「可燃性溶媒」(藤岡) | |
| 8 中間試験 | |
| 9 「化合物B」(田中) | |
| 10 「コカインとプロカイン」(田中) | |

■成績評価の方法・基準■

出席とレポート、中間試験と定期試験により判定する。

■使用テキスト■

続・話しながら学ぶ化学英語、福馬淳子著、廣川書店、ISBN4-567-00476-0

■参 考 書■

シラバス

なし

| | |
|----------------------------|----|
| オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日) | 随時 |
|----------------------------|----|

<使用テキスト注文書>

注) すべての項目をご記入下さい。

| | |
|-----------|--------------------|
| 書名 | 続・話しながら学ぶ化学英語 |
| 著者名 | 福馬淳子著 |
| 出版社名 | 廣川書店 |
| ISBN・ISSN | ISBN 4-567-00476-0 |
| 予想部数 | 110 |